

～ウォーキングラリーがつながる絆～  
長野法人会と奄美大島法人会が青年部の交流

毎年10月に『法人会青年部会全国対抗ウォーキングラリー』が開催されます。1チーム5人以上のメンバー構成とし、1ヵ月間歩いた平均歩数で順位を競います。

上位を目指そうとすると、これがなかなか過酷な競技で、毎日休みなく15,000歩以上を歩くのは、とてもきついです。全国やチームで毎日の結果が共有されますから、平均歩数を下げてしまうと、グループラインで「やる気があるのか!」などと、チームメイトにツッコまれてしまいます。

毎日仲間とつながれて、苦しくも楽しい日々の中で、チーム順位の変動が大きなモチベーションになります。同じレベルで競い合うチームと、抜きつ抜かれつの長いレースになり、この法人会には負けたくないなと頑張るのです。

長野法人会は2024年に全国8位の好成績を取めました。9位には奄美大島法人会が入り、秋が深まる信州で、暖かい場所をぬくぬく歩いている奄美に負けてなるものかと、必死で歩いた結果でした。

昨年のラリーでも奄美大島法人会が僕たちの近くにいる、2年連続のことですから、勝手にライバル視していました。今回は残念ながら負けてしまいましたが……。

長野は寒い冬になり、僕は南国の奄美大島に対する憧れを膨らませていきました。どんな人たちがライバルだったのか、会ってみたいと思いました。さっそく大同生命保険さんを通して、奄美大島法人会さんと連絡をとっていただき、11月に行われた「法人会全国青年の集い山梨大会」で竹山青年部長とお会いし、3月に奄美大島で交流することが決まりました。

長野から8名が旅立ち、奄美からも8名が迎えてくれ、ゴルフ対決や美味しい料理を食べながらの懇親会などで、親睦を深めてきました。奄美名産の黒糖焼酎を製造している主要な3社の部員がいて、飲み比べをするなど、楽しい時間を過ごしました。島の規模の割に異常に多いパチンコ屋さんの話や、1つしかないゴルフ場に集まる毎度の人たちの話など、話題は尽きません。

9月には奄美の方々が長野に来てくれるとのことで、今度は我々がおもてなし返しをする予定です。

ウォーキングラリーでつながった絆、今年も広げていければ、10月は顔の見えるライバルたちと楽しい競争ができそうです。

